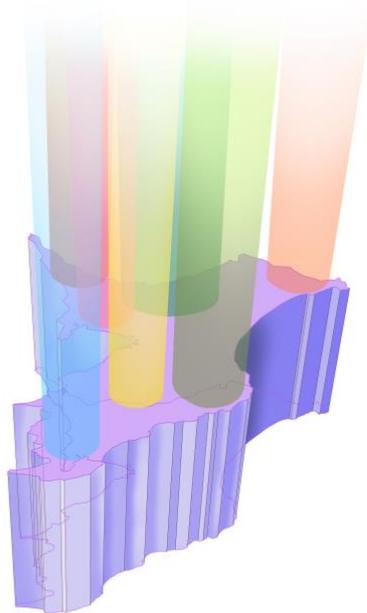


県立学校改革推進プランに係る評価

(令和2・3年度再編実施分)



令和6年12月

教育政策課

— 目 次 —

I 評価の概要

1	評価の目的	1
2	評価の進め方	1
3	評価対象	1
4	再編区分とスケジュール	2

II 評価

1	普通科及び普通系専門学科・コース	
(1)	統合	4
2	職業系専門学科・コース	
(1)	工業に関する学科の再構成	7
(2)	商業に関する学科の再構成	9
3	令和2・3年度再編実施分プラン評価のまとめ	11

III 資料

1	君津高校、上総高校の統合	12
2	外部・関係団体の意見	17
3	基礎データ	19

IV その他

	再編校の追跡調査について	20
--	--------------	----

県立学校改革推進プランに係る評価（令和2・3年度再編実施分）

I 評価の概要

1 評価の目的

県立学校改革推進プラン（以下「プラン」という）の実施状況及び成果や課題を把握し、より一層魅力ある県立学校づくりを推進するとともに、今後の高校改革に係る計画の策定に資することを目的として評価を実施します。

2 評価の進め方

（1）調査の時期

県立高校再編の実施年度から3年が経過し、初めての卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行い、外部からの意見聴取を実施しながら評価を取りまとめます。

定時制・通信制高校においては、4年が経過し卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行います。

（2）アンケート調査、聴き取り調査等の実施

ア 再編実施校の生徒及び保護者を対象に、アンケート調査を実施します。コース設置の場合にはコース選択者以外にも抽出してアンケート調査を実施します。

イ 再編実施校を訪問して、聴き取り調査を実施します。

ウ 再編実施校の近隣中学校にアンケート調査を実施します。

（3）評価の作成

ア 調査結果は「普通科及び普通系専門学科・コース」「職業系専門学科・コース」「総合学科」「社会のニーズに対応した教育」「県立学校の適正規模・適正配置」（「全日制高校の配置」及び「定時制・通信制高校の配置」）の再編種別に大別・整理して、取りまとめを行います。

イ 取りまとめた調査結果について、教育関係団体、産業関係団体、その他外部関係団体から意見聴取を実施します。

ウ 意見聴取等を踏まえ、再編種別ごとに「成果と課題」、及び「今後の取組の方向性」について取りまとめます。

（4）評価の公表

評価結果については、千葉県教育委員会のホームページで公表します。

3 評価対象（令和2・3年度再編実施分）

（1）普通科及び普通系専門学科^{※1}・コース^{※2}

ア 統合（君津高校・上総高校）

（2）職業系専門学科・コース

ア 工業に関する学科の学科再構成（千葉工業高校定時制、市川工業高校定時制）

イ 商業に関する学科の学科再構成（木更津東高校定時制）

※1 専門学科：専門教育を主とする学科であり、25単位以上の専門科目を履修する必要がある。

※2 コース：生徒の特性、進路等に応じ、学習計画に計画性、継続性を持たせるため、学校が独自に各教科・科目をあらかじめ配列したもの。

4 再編区分とスケジュール

再編年度	評価年度	普通科及び普通系専門学科・コース	職業系専門学科・コース	総合学科	社会のニーズに対応した教育	全日制高校の配置	定時制・通信制高校の配置
H24	H26				泉 ・地域連携アクティブスクール 天羽 ・地域連携アクティブスクール		
H25	H27	柏井 ・国際コミュニケーションコース	松戸向陽 ・福祉教育拠点校 ・福祉コース				
H26	H28	千葉女子 ・教員基礎コース 東葛飾 ・医歯薬コース 佐倉 ・理数科 長狭 ・医療・福祉コース ＜医療コース＞ 安房 ・教員基礎コース	千葉工業 ・工業教育拠点校 ・コンソーシアム 長狭 ・医療・福祉コース ＜福祉コース＞		銚子 ・防災の学び 鶴舞桜が丘 ・緑地管理コース		
H27	H29	成田国際 ・グローバルスクール	茂原樟陽 ・農業教育拠点校 小見川 ・福祉コース		船橋古和釜 ・地域連携アクティブスクール 流山北 ・地域連携アクティブスクール 銚子商業 ・海洋環境コース 館山総合 ・観光の学び ・栽培環境コース	大原 岬 勝浦若潮 ・統合	
H28	H30	松尾 ・グローバル化に関する学び	千葉工業 ・理数工学科	小金 ・総合学科	東葛飾 ・中高一貫教育校 成東 ・単位制		
H29	R1 通信 R1 R2	匝瑳 ・国際に関するコース 木更津 ・理数科	佐倉西 ・福祉コース				館山総合 ・通信制協力校

再編年度	評価年度	普通科及び普通系専門学科・コース	職業系専門学科・コース	総合学科	社会のニーズに対応した教育	全日制高校の配置	定時制・通信制高校の配置
H30	R2	我孫子 ・教員基礎コース 君津 ・教員基礎コース	千葉商業 ・学科再構成 流山 ・学科再構成 成田西陵 ・学科再構成 下総 ・学科再構成 多古 ・学科再構成 旭農業 ・学科再構成 大網 ・学科再構成 茂原樟陽 ・学科再構成 君津商業 ・学科再構成 鶴舞桜が丘 ・学科再構成		安房 ・単位制		
R1	R3	市川南 ・保育基礎コース	我孫子東 ・福祉コース	幕張総合 ・総合学科	市原八幡 ・防災の学び	市原 鶴舞桜が丘 ・統合	
R2	R4 定時 R5	成田北 ・医療コース 四街道北 ・保育基礎コース	犢橋 ・福祉コース 天羽 ・工業基礎コース 姉崎 ・ものづくりコース				千葉工業 ・学科再構成 市川工業 ・学科再構成 木更津東 ・学科再構成
R3	R5					君津 上総 ・統合	
R4	定時 R6 R7						船橋 行徳 ・統合 佐倉南 ・三部制定時

※網掛け箇所が今年度評価対象校

Ⅱ 評価

1 普通科及び普通系専門学科・コース

(1) 統合

全日制高校の配置の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 多くの友人・教師との触れ合いやお互いの切磋琢磨の機会を確保し、教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動が展開できるよう、学校の規模・配置の適正化を進めます。
- 多様な学校の中から、生徒が興味・関心、適性等に応じて学校が選べるように、各校の特色を更に深化させます。

ア 第4次実施プログラムにおける全日制高校の配置（統合）

(ア) 対象校

君津高等学校・上総高等学校

(イ) 再編の内容

- ・君津高校と上総高校を統合し、使用校舎は君津高校とします。なお、上総高校校舎は園芸科の使用校舎とし、名称を千葉県立君津高等学校上総キャンパスに変更します。
- ・統合校には、両校の学びを継承し、普通科及び園芸科、英語コースと教員基礎コースを設置します。
- ・園芸科実習のため、上総キャンパスは継続して使用することとし、生徒の移動には、バスを使用します。

イ 実施状況

- ・普通科では2年次より英語コース、文系、理系の3コースに分かれます。このコースについてはクラス編成を行っています。教員基礎コースは7限及び長期休業中に設定された授業を受けています。コース単独でのクラス編成を行っていません。
- ・英語コースでは英語教育拠点校として先進的な英語教育を実践しています。その他、外国語指導助手（ALT）が常駐しています。毎年、夏季休業中にBritish Hills^{※1}のプログラムに参加しています。
- ・教員基礎コースでは地域と連携し、小・中学校へのインターンシップ^{※2}や、大学教授を招いた出前授業を行っています。
- ・園芸科では園芸作物の栽培を中心とした体験的な学習を通して、園芸に関する知識と技術を身に付けていきます。また、地域と連携し「花いっぱい活動」を展開し、アクアラインや君津中央病院、君津市役所の植栽を行っています。

※1 British Hills：福島県岩瀬郡天栄村に所在。学校法人佐野学園が設立し、パスポートのいない英国をキャッチコピーとした語学研修施設。

※2 インターンシップ：将来就業を希望する会社や職種において、実際に一定期間就業体験を行うこと。



教員基礎コースにおける地元小学校でのインターンシップの様子



園芸科 植栽の様子



地域への農作物の販売

ウ まとめ

(ア) 成果と課題 (○成果 ●課題)

○普通科だけでなく、英語コースや教員基礎コースができたことによって、多様な学びを展開できるようになりました。また、学びを展開するうえで、近隣小・中学校との連携が強くなりました。

○園芸科での活動を通じて、地域との連携が強くなりました。

●ホームページの更新を積極的に行っているが、更なる情報発信をする必要があります。

(イ) 今後の取組の方向性

生徒のニーズに即した進路実現のために、普通科のみならず、英語コース・教員基礎コース・園芸科において地域との連携を密にとっていきます。

【参考 1】主な連携先とボランティア先

＜連携先＞	<ul style="list-style-type: none"> ・敬愛大学 ・千葉県立君津特別支援学校 ・千葉県立槇の実特別支援学校 ・君津市立周西中学校
＜ボランティア先＞	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市立周西の丘小学校 ・君津中央公民館

【参考 2】生徒アンケート結果（君津高校で学んでよかった理由）

- ・進路についてたくさん考える機会が多かった。
- ・勉強の大切さを知り、努力できたから。
- ・沢山の友達ができて、わかりやすい授業がありとても充実している。
- ・教員基礎コースでいろいろ学べたし、優しい友達や先生にたくさん出会えたからです。

【参考 3】令和 5 年度卒業生の進路状況

学科	コース	卒業者数	大学	短期大学	専門学校等	就職	公務員	その他	未定
普通科	文理	187	132	3	27	5	7	0	13
	英語	22	14	0	8	0	0	0	0
	教員 基礎	27	20	0	3	1	3	0	0
園芸科		29	3	1	7	15	2	1	0

*教員基礎コース（大学進学者 20 名の内訳）

教員養成系大学等進学者 6 その他大学進学者（教員希望） 5

その他大学進学者（教員希望無し） 9

*園芸科（卒業生 29 名の内訳）

農業大学以外 3 農業専門学校以外 4 その他 1 農業専門学校 3 農業系企業 1

その他企業 1 4 その他公務員 2 未定 1

農業関係全体（13.8%） 農業関係進学（10.3%） 農業関係就職（3.4%）

2 職業系専門学科・コース

(1) 工業に関する学科の学科再構成

職業系専門学科の具体計画の方向(プランより抜粋)

- 地域産業や産業振興施策^{※3}との整合性を踏まえ、工業高校の配置やわかりやすい学科名への変更を含めた学科再構成等を実施し、工業教育の充実を図ります。

ア 工業に関する学科の再構成

(ア) 対象校

千葉工業高等学校(定時制) 工業科
市川工業高等学校(定時制) 工業科

(イ) 再編の内容(プログラムより抜粋)

- ・生徒の多様な興味・関心、能力・適性等に対応し、卒業後の進路を見据えた学びが選択できるよう、職業系専門学科の在り方を見直し、千葉工業高校定時制課程の機械科、電気科を工業科に、市川工業高校定時制課程の機械電気科、建築科を工業科に再構成します。

イ 実施状況

[千葉工業高校]

機械科と電気科を工業科に再構成し、1年次に工業科の基礎の定着を図りつつ、生徒が適性を見極められるよう、きめ細かな指導を行います。2年次から、生徒が進路希望や興味・関心に応じて選択する機械・電気・建築などの専門分野のコースを設置します。普通教科において、学び直しを行うなど基礎学力の定着を図るとともに、卒業後も学び続ける意欲や社会性を高めるために、0時間目を設定し自由選択科目を履修できるようにしています。また、日本語指導等指導員を配置し日本語が不自由な生徒に対応しています。コースの設置に向けた教育課程上の留意点については、コース選択する際に、生徒への情報提供や体験等を1年次の授業を通して行っています。

[市川工業高校]

機械電気科と建築科を工業科に再構成し、2年次から機械コース、電気コース、建築コースの3コース体制に移行しました。1年次生が科目「工業技術基礎」で3コースをローテーションしながら学び、個々の適性と関心にあったコース選択ができるように留意しています。また、電気工事士や建築士の受験資格が得られるように教育課程を編成しています。1年次の2学期末にコース選択に係る希望調査を実施します。生徒の将来就きたい職種や興味関心を優先するため、第1希望を優先してコースを決定しています。



電気工事実習(千葉工業)



学校に興味・関心を持つための
レク大会(千葉工業)

※3 産業振興施策：県内企業を取り巻く環境が大きく変化する中、本県経済の持続的な発展を図るために策定された「明日のちばを創る！産業振興ビジョン」

ウ まとめ

(ア) 成果と課題 (○成果 ●課題)

[千葉工業]

- 入学後に機械・電気・建築コースを選択できることにより、進路選択に合わせたカリキュラムを選ぶことができます。(ミスマッチの防止)
- 工業高校の特長等を理解しないまま入学する生徒が少なからずいます。また、不登校からの脱却ができないことや、問題行動を起こす生徒への支援・対応を必要としています。(コミュニケーション対策)

[市川工業]

- 中学3年の2月には、適性と関心に応じた学科志望が難しかった生徒が、入学後1年次の授業を受けながら、考えてコース選択できるようになりました。
- 希望コースの人数に偏りが生じています。

(イ) 今後の取組や方向性

- ・中学生やその保護者、中学校関係者に対して、進路状況等について、さらに適切な情報を提供します。在校生には少なからず精神的に不安定な生徒がいるため、定期的な個別面談やアンケートを実施し、生徒のバックアップ体制を整えます。また、可能であればメンター制度の導入を検討しています。その他に、学習の理解度に幅があることが問題になっています。分割授業が可能になるよう人的な配置を強く希望しています。特に、実技・体験・作業をとまなう授業においては、安全配慮の観点から複数教員による授業展開が必要不可欠となります。
- ・個々の生徒の適性を見て、過度にならないよう留意しながら教師側も指導助言していきます。また、学び直しや外国人生徒に対応するために教員数の増加を希望しています。さらに外国人生徒に対して、母語を理解できる支援員の配置が必要です。



外部講師による大型クレーン車操作体験 (市川工業)



鹿島建設での現場見学の様子 (市川工業)

(2) 商業に関する学科の学科再構成

職業系専門学科の具体計画の方向(プランより抜粋)

- 経済社会のグローバル化や情報通信技術（ICT_{*4}）の急速な進展等に対応した教育内容の充実を図るとともに、わかりやすい学科名への変更などを含め、学科再構成を行います。

ア 商業に関する学科の再構成

(ア) 対象校

**木更津東高等学校（定時制） 普通科 商業に関するコースを設置
商業科 令和2年度に募集を停止**

(イ) 再編の内容（プログラムより抜粋）

- ・生徒の多様な興味・関心、能力・適性等に対応し、卒業後の進路を見据えながらニーズにあった学びが選択できるよう、木更津東高校定時制課程に商業に関するコースを設置します。
- ・木更津東高校定時制課程の商業科は令和2年度入試から募集を停止します。

イ 実施状況

- ・商業科設置時には、商業科目25単位（1年次6単位、2年次5単位、3年次6単位、4年次8単位）でしたが、現在は、商業科目11単位（2年次2単位、3年次5単位、4年次4単位）です。1年次では、学び直しを行うなど基礎学力の定着を図りつつ、きめ細かなキャリア教育を行います。2年次から、進路希望や興味・関心に応じて選択する商業コースを設置します。商業コースでは、学びを生かし様々な資格取得を目指します。現在1クラスであり、普通コースと商業コースの2種類があります。全員が制限なく希望のコース選択ができています。
- ・生徒がコースを選択する時期は、1年次の10月です。はじめにクラス全体で、各コースの違いについて説明します。その後商業科目の体験講座(1コマ)を実施します。（1年次生徒が3年次の授業に参加します。1年次生徒は、3年次生徒の補助を受けながら簿記の授業体験をします。情報処理の授業では、3年次生徒の実習を1年次生徒が見学しながら、商業科目について説明を受けます。）商業コースを選択する理由は、資格取得ができるから、マナー等が将来に役立ちそう、事務職に就きたいのでスキルが身につくと思う、親のすすめ（社会人になるために商業コースの方がよいと言われた。）等さまざまです。



補助を受けながらの簿記の授業体験



講師によるマナー講習

※4 ICT: ICT【Information and Communication Technology の略、情報通信技術】パーソナルコンピュータやタブレット端末、スマートフォンなどを使った情報処理や通信技術の総称。

ウ まとめ

(ア) 成果と課題 (○成果 ●課題)

- 入学後に説明を聞いてから商業コース選択をすることで、「商業」の理解が増し、「ビジネスマナー」や「資格取得」といった明確な目標をもって学ぶ姿勢ができました。
- 資格取得に意欲的に取り組む生徒が多く、受験率・合格率ともに商業科設置時に比べ高いです。今年度は資格を活かし、初の事務職への就職者が3名いました。
- 商業関係の専門学校への進学者もおり、将来を見据え、更に学びたいという意欲のある生徒がいました。初の商業コース卒業生からは、「絶対に商業コースで力をつけた方が得だ」という達成感を得られた感想が挙げられています。商業コースと普通コースに分かれているため、生徒の適性や興味関心に応じた学びが実現できています。
- 商業の学びはコースで展開しているため、商業の履修科目・履修単位を増やしたいと考えたとき、同じ時間帯に他の教科・科目を実施することになります。他の教科・科目の単位数が同時に増えるため、商業に係る科目の単位数を増やすことが難しいです。
- 学科再編により商業科がなくなったため、教員数が減り、生徒とかかわる時間、きめ細かい生徒指導の時間が少なくなりました。
- 商業高校と同じ設備環境ではない（本校はノートパソコン、商業高校はデスクトップパソコン）ため、商業高校へ出向いての実技検定ができません。少人数でも自校で資格取得ができる仕組みが必要です。例えば、上位級取得は授業のみでは困難ですが、希望者はいます。少人数（上位級のみ）での検定実施が可能となれば、希望する生徒が実技検定を受験できる機会が増えると思います。

(イ) 今後の取組や方向性

- ・定時制は困難を抱えた多様な生徒が在籍しています。定時制という特殊な課程であることを鑑み、配慮した教員配置が必要です。複数科目のTT※5を実現することで、生徒の学ぶ意欲・能力も向上するとともに、より多くの教員が各年次を担当することにより、生徒理解・生徒の育成につながると考えます。

※5 TT：TT【Team Teaching】複数の教師がチームとなり、各教師の特性を生かしながら、一つの子ども集団を対象に、指導の全部または一部について共同で責任を負い、協力して指導に当たること。

3 令和2・3年度再編実施分プラン評価のまとめ

(1) 評価を終えて

県教育委員会では、プランの実施状況及び成果や課題を把握し、より一層魅力ある県立学校づくりを推進するとともに、今後の高校改革に係る計画の策定に資することを目的とし、評価を実施しました。

令和2、3年度に再編を実施した5校は、プランにある「改革の方向性」に沿い、「基本的コンセプト（目指すべき県立高等学校像）」の実現に向け、一定の成果を上げることができました。

一方で専門学科やコースの魅力発信、各種支援員の充足など課題はあるものの、「魅力ある学校づくり」という目的を、概ね達成できたと考えました。



(2) 評価の改善に向けた取組

君津高校は統合後、普通科6クラス、園芸科1クラス募集の学校となり、統合により学校の活性化、地域社会や異校種との連携、多様な学びの展開に成果がありました。地元地域との関係は確実に密になっており、特に園芸科や教員基礎コースの認知度の高さがうかがえます。今後、英語コース等の他のコースの充実ぶりについても、積極的な情報発信が期待されます。

定時制専門学科の再構成では、個々の適性に応じたコース選択が可能となり、入学後のミスマッチを未然に防ぎ、納得感のある進路選択ができるようになりました。今後の課題は、不登校生徒への対応や外国籍生徒への支援などの課題に対応する人員確保が急務となっています。

(3) 効果的な魅力発信や広報

これまで県立高校では、各校の魅力や特色を伝えるため、学校ホームページの充実に努め、体験入学や学校説明会等を積極的に実施するなど幅広い広報活動を行ってきました。今回統合した君津高校においても、園芸科や教員基礎コース等の特色ある学びを実践し、意欲的に地域と連携を図ることで、地元地域や小中学校に学校の取組や生徒の様子を周知しています。県教育委員会においても、ホームページ上での「県立高校ナビ」の作成や、「ちばの高校で学ぼう！～千葉県立高校ガイドブック」の発刊、学校提案型魅力発信事業の実施等によって戦略的に広報活動を行い、各校の魅力の更なるPRに努めているところです。今後はSNS等の新たな広報媒体等についても研究し、より効果的な広報の在り方を検討してまいります。

(4) 終わりに

千葉県では、今後さらに少子化が進み15歳人口が、10年後の令和16年度には約6千人減少することが予測されています。

したがって、県立高校を取り巻く環境はますます厳しくなることが推測されます。魅力ある学校づくりを進めるためには、学校・行政、生徒・保護者、地域の方々など学校に関わるあらゆる人々が、生徒の明るい未来のために、ともに手を携えていくことが必要です。今後も魅力ある学校づくりのために、御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

県教育委員会としては、令和4年3月に策定した「県立高校改革推進プラン」のもと、引き続き魅力ある学校づくりを推進してまいります。



【出典】学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁字別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成

Ⅲ 資料

1 君津高校・上総高校の統合

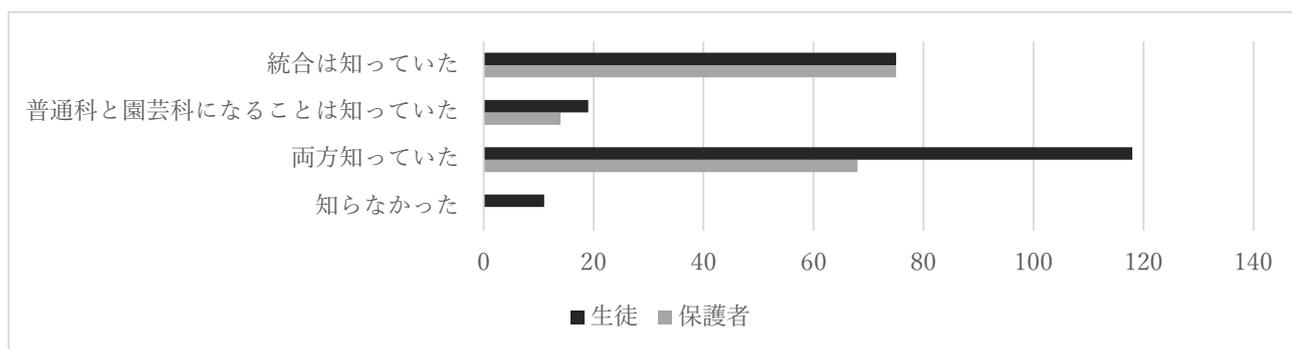
普通科（文系コース・理系コース・英語コース・教員基礎コース）、園芸科

ア 生徒及び保護者アンケート調査

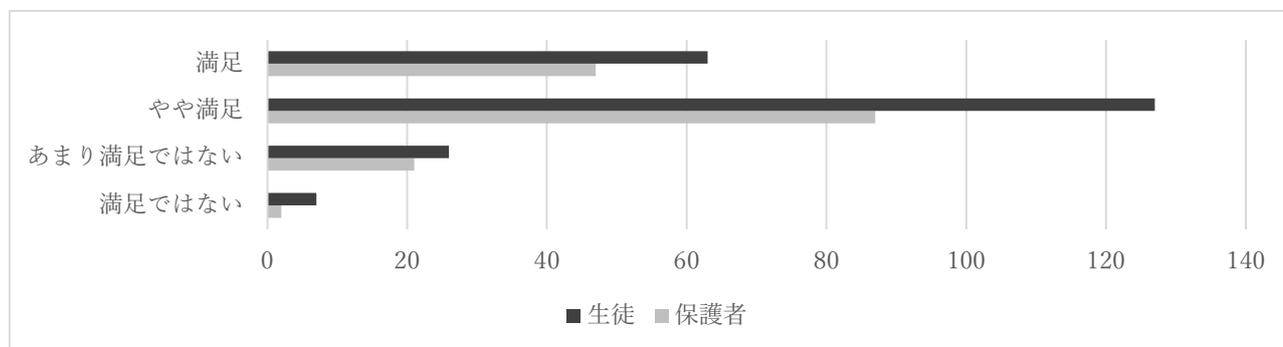
(ア) アンケートの実施

- ・実施時期 令和5年12月
- ・回答数 生徒 223名（3年生）、保護者 157名（3年生保護者）

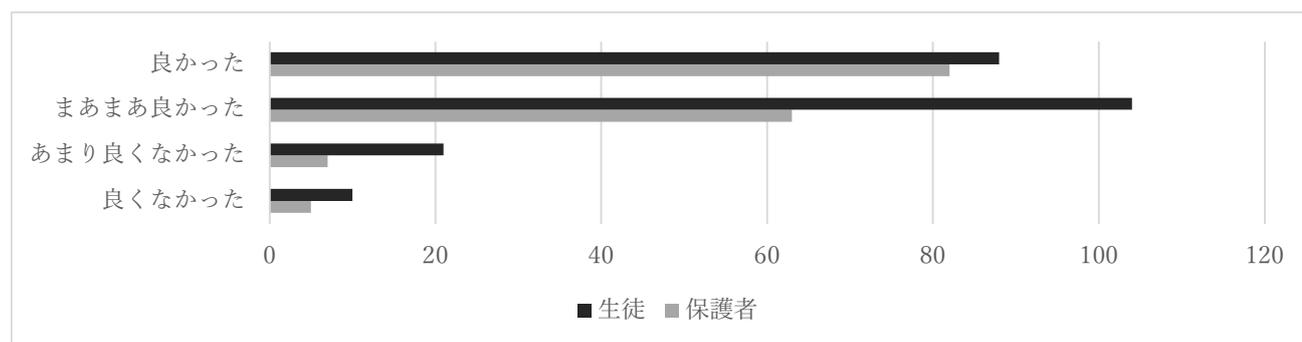
(イ) 受験前に君津高校が旧君津高校・上総高校の2校が統合し、普通科と園芸科になることを知っていましたか。



(ウ) 君津高校の授業内容に満足していますか。



(エ) 君津高校で学んで良かったですか。



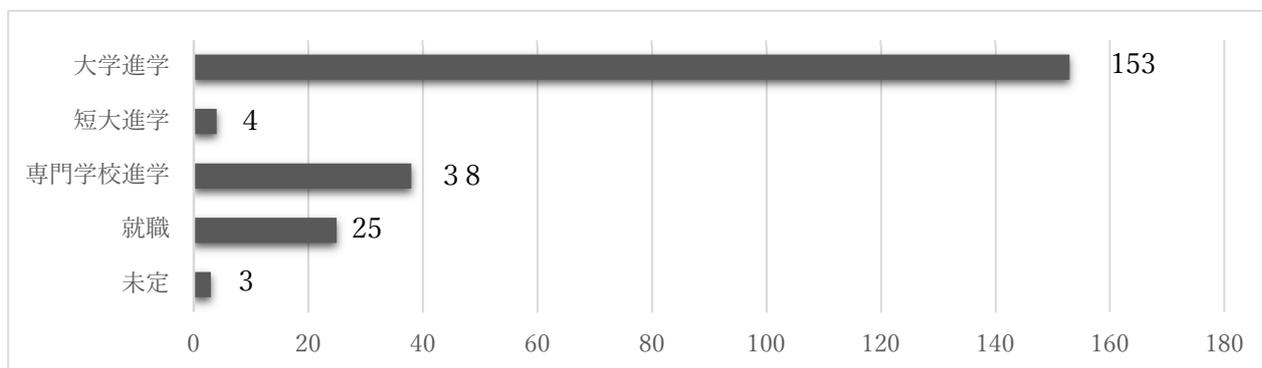
【(エ)生徒の主な理由】(抜粋)

- ・進路に向けて相談できる友達や先生がいた。
- ・自分と同じくらいの学力の人と切磋琢磨して勉強できた。
- ・自分の好きな花に関することを草花コースで学べるから。
- ・しっかりと生徒一人一人と向き合い、学習能力向上の手助けをしてくれている。
- ・充実した部活動や学校生活が送れたから。
- ・英語コースがあったから。
- ・授業がわかりやすく、レベルの高い先生がいる。

【(エ)保護者の主な理由】(抜粋)

- ・学校生活が楽しそうだったこと。希望進路へ向けて、担任の先生をはじめ、沢山の先生方がサポートしてくださったこと。
- ・中学生の時には体験できなかった、行事や実習等に参加することで、視野を広げることができました。
- ・楽しい仲間がたくさんできチャレンジしたいことを存分にさせてもらっている。
- ・落ち着いた生徒が多く、安心して学校に通うことができた。
- ・教員基礎コースで、他校ではできない経験が沢山できたから。
- ・本人の生活態度はあまり良くないのですが、先生方の諦めず寄り添おうとくださる姿勢に感謝しています。

(オ) 進路希望状況



イ 当該校への聴き取り

(ア) 「普通科」「英語コース」「教員基礎コース」「園芸科」の目標や特色

普通科では、1年次から国公立及び難関私立大学希望者に対応するため、応用クラスを設置している。2、3年次からは文系にのみ設置し、他クラスに比べ早い進度で難度の高い授業を展開している。英語コースは、英語が好きな生徒や英語4技能を向上したい生徒、卒業後海外で学びたいと考えている生徒向けである。教員基礎コースでは、近隣の教育機関・連携大学等の協力を得ながら、将来教職を目指す生徒に対して体験活動・実習や講義をとおして、教員としての素養を育成している。園芸科は、園芸作物（主に野菜・草花）の栽培を中心とした体験的な学習を通して、園芸に関する知識と技術を身に付けることを目的としている。

(イ) 学習への取組

- ・普通科では、2年次から文系・理系・英語の3コースに分かれている。
- ・英語コースでは、他のコースより4単位分多く、英語の授業を実施している。
- ・園芸科では、地域との連携に重点を置き、地域在来種の「小糸在来[®]」^{※6}の栽培を行っている。

(ウ) 統合の成果

- ・統合したことにより、部活動の加入率が上がり、学校全体の活気が増した。
- ・園芸科が育てた植物を式典などで活用することにより、普通科の生徒に、園芸科の活動を広報する場が増えた。
- ・統合したことで、普通科と園芸科の垣根が低くなり、普通科と園芸科の交流が盛んになった。

(エ) 現在の課題

生徒指導の面では、園芸科の生徒のなかにデリケートな問題を抱える生徒が複数いるためSC^{※7}、SSW^{※8}、外部機関等との連携をしつつ、職員間でチームを組みきめ細かな対応に当たっている。

(オ) 近隣中学校へのアンケート（近隣の中学校からの評価や意見）

- ・地元地域においては、木更津高校に次ぐ進学校として期待している。
- ・部活動が盛んであるだけでなく、教員基礎コース、英語コース、園芸科と生徒の将来を見据えた学びも展開しているため、中学校側としても進学先として勧めていくつもりである。

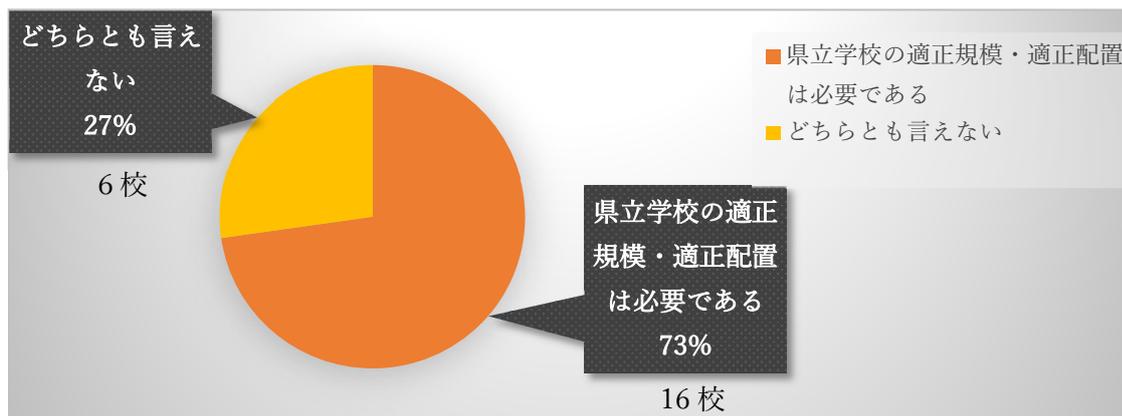
※6 小糸在来[®]：千葉県君津市の小糸川流域を中心に、古くから栽培されてきた在来種の大豆。

※7 SC：SC【School Counselor】教育機関で心理相談業務に従事する心理専門家の職業名、および当該の任に就くものを指す。

※8 SSW：SSW【School Social Worker】児童・生徒が抱えている問題に対して、保護者や教職員、関係機関と連携しながら解決に向けた支援を行う職業名、および当該の任に就くものを指す。

ウ 近隣中学校（22校）へのアンケート

(ア) 統合についてどのようにお考えですか



【「県立学校の適正規模・適正配置は必要である」の具体的な意見】（抜粋）

- ・子どもの人数が減っているため。
- ・定員割れの状況が続いている学校が多数。
- ・活力ある学校をつくっていくためには、生徒数の確保や教育予算の充実が必要であり少子化が進む中、統合は必要なことであると考えています。
- ・生徒数の減少に伴っての県立高校の適正配置は妥当なことだと考えます。ただ、どの地域にも必ず通学をしたい生徒がいますので、学科等を減らすことはできる限り避けていただきたいことです。

【「どちらとも言えない」の具体的な意見】（抜粋）

- ・適正については、よくわからない。ただ、それにより定員が大幅に減るなど、生徒の不利になるようなことがあれば、統合も必要と考える。
- ・学校間の学力差があまりに大きい統合は避けた方が良いのではないかと。
- ・規模を考えることもわかるが、学校や地域の特性も大切だと考える。特色の異なる2校の統合はいかかなものだろうか。
- ・旧上総高校地区の過疎化が益々進むと思われまます。

(イ) 次のうち、君津高校の取組として良いと思うものはどれですか。(2つまで)

両学科とも、地域と連動した活動をしている

普通科では、生徒の多様な進路希望に対応するため1年次からの応用クラスや2年次から選択できる様々なコースの設置等により、きめ細やかな教育活動をしている

園芸科では野菜や草花などの栽培を中心とした体験的な学習をしている

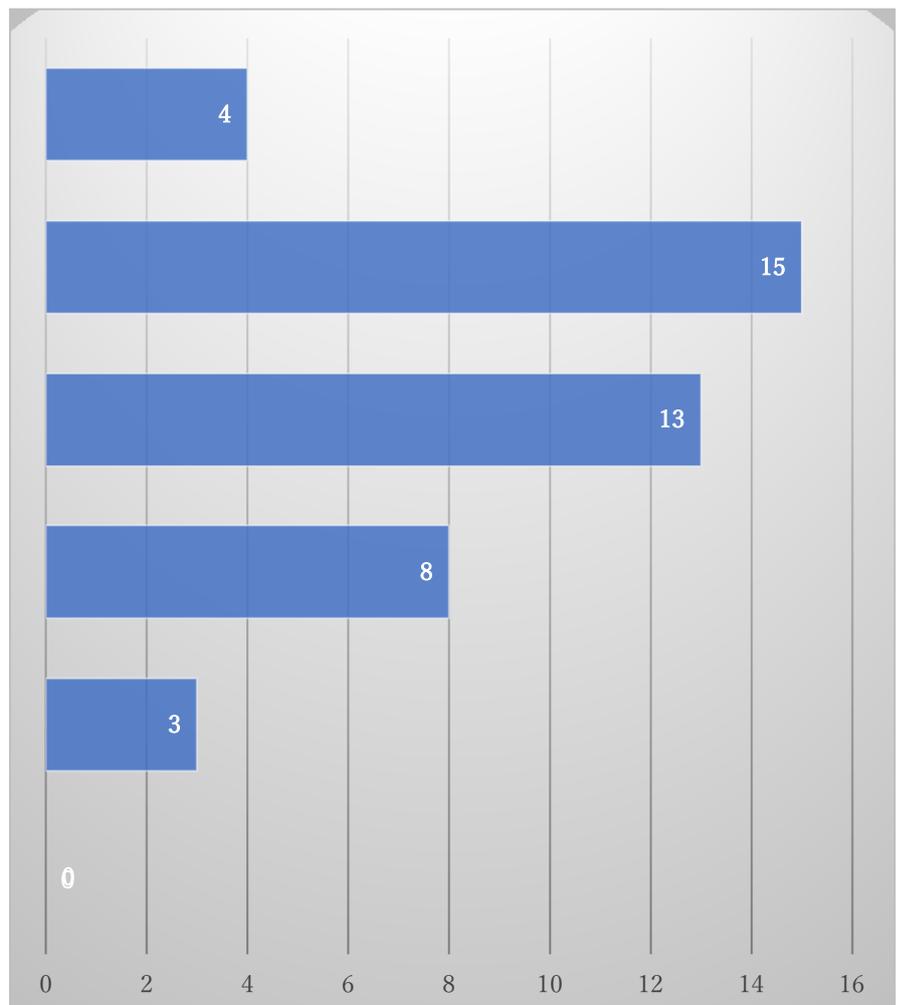
教員基礎コースでは、近隣の教育機関との連携によって、教職に関する体験や実習をしている

*現在は普通科のみ選択可能

英語コースは、他のコースよりも英語の学習時間を多く設定し、ALTと会話の時間を個別に設けている

*現在は普通科のみ選択可能

その他



(ウ) 今後の君津高校に期待することや、より魅力ある学校となるために改善した方が良いと思うことがあれば自由にお書きください。(抜粋)

- ・今年度、卒業生が教員基礎コースを選択して10月にインターンとして実習に来たときに、成長を実感することができました。目標を持った生徒が、自分の将来を考え、実現させるためにコースを選択し学ぶことが充実した高校生活に繋がっているのだと感じました。今後も卒業生がお世話になると思います。君津高校には、活発な活動と様々なニーズに合わせたコースづくりを期待しています。
- ・普通科ではコースがあり、特徴が出ていてよいと思います。園芸科では花をいただくなど地域との交流が素晴らしいと思います。
- ・旧上総高校との合併で、学区No2の進学校というブランドが薄れ、今まで君高をめざしていた層が、私立に流れているという実感がある。やっていらっしゃることはしっかりしていると思いますので、ブランド再構築を地道にやっていくしかないのではと感じます。地域の公立中学校として応援しています。
- ・様々なコースの実践がなされているので、さらなる情報発信をしてその魅力をアピールしてください。
- ・地域の中心的な高等学校として、中学生の多様な進路に対応することはもちろん、君津高校だからこそできることは何かを考え、魅力のある学校であってほしい。地域で君津高出身者がいるので、うまく活用できるとよいと思う。

2 外部・関係団体の意見

(1) 意見聴取先

- 君津市教育委員会
- 君津中央公民館
- 君津市立周西中学校
- 君津市立周西の丘小学校
- 株式会社富士食品
- 東京湾横断道路株式会社

(2) 主な意見

ア 統合について、全体を通しての意見

- ・ 中学校の校長先生がぜひ連携したいとの話があり、今年度から教員基礎コースの生徒が体育祭の補助を行っている。お互いに教えたい、教わりたいで相互利益がある。夏季の学習会、書道部の書初め指導やパフォーマンス、英語技能検定の面接練習など幅広く連携をしている。
- ・ 小学校では草花の植樹(パンジー等、年3～4回)。一緒に育て卒業式に飾っている。
- ・ 当時の受験生の中で、上総高校を目指している生徒がいた。卒業時に君津高校になるから、そこを意識していた生徒が増えた。
- ・ 山間部に住んでいる生徒は、上総高校が無くなることで通学の不便さが増加した。
- ・ 君津高校の学力がどうなるか。上総高校を目指していた生徒にとって、合格基準が上昇するという懸念。
- ・ 教員基礎コース・園芸科など外部と連携しているが、独自に何かやっていることを魅力発信した方が良い。教員基礎コースでは、千葉大学と連携して指定校がもらえるとか、高校の授業で大学の単位を取得できる等メリットがあると良い。
- ・ 園芸科の「花いっぱい運動」でプランターの植栽や手入れを行ってもらっている。
- ・ 今やっている取り組みを継続し、排出物の再利用となるSDGsにつながる「コンポスト」の利用を協力いただきたい。
- ・ 園芸科の生徒しか接点はないが、生徒の主体性を大切にしていると感じた。
- ・ 統合前は卒業生や在校生が今後不安を持っていた。現在は君津高校の全体のイメージを変えようと努力している。
- ・ 今まで関りの少なかった園芸科の活動を知ることができた。
- ・ 統合後の名前を「君津高校」で残したことによって、書類上の名前や校歌等の変更をしないで済んだこと。
- ・ 部活において、専門的な指導ができる教員を増やしてほしい。進学に関しては、推薦を使用せず、大学共通テストや一般受験をし、進学率を上昇させてほしい。
- ・ 様々な生徒(専門的な学習している)がいることで、連携できることが増えた。
- ・ 文武両道でしっかりやっている。以前と比べると熱量が違う。目立つ子が少ない。主体的に活動し、意欲が出るともっと良い。
- ・ ボランティアの募集に前向きに取り組んでいただき、感謝している。連携することでお互いが触れる機会が多くなり、若者の活躍の場が増える。
- ・ 周囲の大人は君津高校のブランドが落ちたと言っているが、そんなことは感じない。
- ・ PTAで園芸科の視察に行ったが、保護者の評判が良かった。また、不登校だった生徒が園芸科に入学し、改善されたこともある。
- ・ 教員基礎コースはある程度認知されていると思うが、英語コースはどうか。地域以外には知られていない可能性があるのではないか。

イ 今、社会が求めている人材についての意見

- ・ただ英語が使えるだけでなく、語学力を用いディスカッションできるような能力が今後の社会で必要。
- ・忍耐力や我慢強さ等、継続できる力がほしい。
- ・向上心を持ち、頑張ることに対して素直な表現をしてほしい。
- ・歯を食いしばって頑張れる子。
- ・様々な事柄について自分で考え、善悪を判断しながら、行動に移せる人材や変化に対応できる人材。
- ・一歩踏み出す勇気を持ってほしい。
- ・絶対に失ってはならない一次産業に目を向ける生徒。

ウ その他の再編校の取組についての意見

- ・専門学科は生徒がイメージを持ってない。例えば工業系だと電子機械科や電気科と言われても、先を見据えて選択している生徒は少ない。1年次の段階で工業全体を学び、土台を作った上で2年次以降枝分かれしていくやり方があっても良い。
- ・市内に工業高校が無いので、工業科を設置してもらいたい。
- ・コースを設置することで専門性の高い授業や教員が必要。どのようにカリキュラム編成や教員配置を行っているかが気になる。
- ・県立高校にコースなど様々な学びがあるが、周知されていないのでは。進路指導の研修等に専門学科の学び等を入れてほしい。

エ 県教育委員会が進めている「県立学校の魅力づくり」についての意見

- ・公共交通機関の整備（スクールバスの配置）を要望する。
- ・現状の情報だけでは判断できない。評価を正当に行うためには、ある程度長いスパンが必要であり、進学先や進学率、就職先などの実績の積み重ねが必要。結果が勝負。
- ・時代の趨勢であり、人口減少、効率化集約はやむを得ない。
- ・専門性が高い学科・コースがあることは、多くのメリットがある。この取り組みを継続してもらいたい。
- ・教育委員会は広い視野で物事を見るが、内部の部分は現場の職員に寄り添ってもらいたい。大きなものを作るときほど、細部の構造をしっかりと作ってもらいたい。
- ・統合が進んでいるが、親としては学力の範囲（コース等含む）が多くあり、選択肢がある方が良い。

3 基礎データ

○君津高校（普通科）

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	予定人員	志願者確定数	倍率	
R1	240	144	305	2.12	104	146	1.40	
R2	240	144	264	1.83	105	119	1.13	統合
R3	240	240	230	0.96				選抜一本化
R4	240	240	258	1.08				
R5	240	240	232	0.97				

(園芸科)

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	予定人員	志願者確定数	倍率	
R3	40	40	30	0.75				選抜一本化
R4	40	40	45	1.13				
R5	40	40	33	0.83				

○上総高校（普通科）

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	予定人員	志願者確定数	倍率	
R1	80	48	41	0.85	42	10	0.24	
R2	80	48	37	0.77	43	10	0.23	

(園芸科)

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	予定人員	志願者確定数	倍率	
R1	40	28	31	1.11	12	1	0.08	
R2	40	28	32	1.14	12	6	0.50	

IV その他

再編校の追跡調査について

1 調査の目的

再編により設置したコース等において、大学等卒業後の就業状況について、追跡調査を実施し、再編の効果を検証するとともに、検証結果を踏まえ、生徒にとってより良い学びの場となるよう各学校の支援やコース等の見直しに活用するため。

2 調査対象（平成26年度設置コース）

- (1) 医歯薬コース
東葛飾高校 第1・2期生（平成28・29年度卒業）
- (2) 医療・福祉コース
長狭高校 第1・2・3期生（平成28・29・30年度卒業）

3 調査結果

- (1) 医歯薬コース
【東葛飾高校】 第1・2期生（平成28・29年度卒業）

	第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)
調査数	40	27
回答数 (回答率)	20(50.0%)	16(59.3%)

		第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)
進学先で医療従事者養成課程を履修した生徒※1		8/20 (40.0%)	9/16 (56.3%)
医療従事者国家試験を受験した生徒		5/ 8 (62.5)	6/ 9 (66.7%)
医療従事者国家試験で合格した生徒		5/ 5 (100%)	6/ 6 (100%)
現在の職務等 ※1の内訳	臨床研修医	県内2 大学附属病院 国府台病院	なし
	正規採用	県内2 <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェルシア薬局株式会社 ・ 公立高校教諭 県外7 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚生労働省2 ・ 東ソー株式会社 研究開発職 ・ 株式会社明治 研究職 ・ 薬剤師 ・ MR ・ システムエンジニア 	県内2 <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェルシア薬局株式会社 ・ クリエイトSD 県外7 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品医療機器総合機構 ・ 航空自衛隊 ・ 薬剤師 ・ 東京大学医学部附属病院 助産師 ・ 医療コンサルタント ・ トヨタ自動車
	その他	県外6 <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社NTTデータ ・ PHC株式会社 ・ 現役医学生、大学院等 無回答3	県内3 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東邦大学大学院博士課程 ・ 現役医学生2 県外2 <ul style="list-style-type: none"> ・ 航空大学校学生 無回答2

<第1期生（平成28年度）卒業生の主な意見>

※第1期生については、昨年度（令和5年度）公表した県立学校改革推進プランに係る評価（令和2年度再編実施分）にて掲載済み。

<第2期生（平成29年度）卒業生の主な意見>

- ・大学入試や就職試験の時に小論文・作文の試験があり、医歯薬コースの授業で得た知識や経験がその回答を考える上で役に立った。
- ・日々の生活で常に数え切れない程役に立っています。
- ・高2の夏に病院で薬剤師体験をさせていただいたことが特に印象に残っています。実際に薬剤師として働かれている方々の職場の雰囲気を知ることができ、大学受験のモチベーションになりました。柏市医師会の皆様の講義なども、当時の私にとっては難しい内容もありましたが、大学に6年間通った今だからこそ、本当に貴重な時間だったと感じています。もし何かお役に立てそうなことがあれば、ご連絡いただけたらありがたいです。
- ・病院見学を経験したことで、大学入学前から薬剤師として働くイメージを持つことができた点。また、医歯薬コースでは自由研究に力を入れていたことが、今の研究生生活に少なからず役立っていると感じます。
- ・1年次に、東北大震災の被災地を訪問した経験から、地域医療や災害医療に興味を持ちました。また1、2年次の自由研究で災害医療や医師の偏在について調べた経験は医学生になってからの実習や課外活動に活かしていると感じています。1浪しているので、医師国家試験は来年受験予定です。
- ・「傷跡を直す方法」というテーマで自由研究に取り組んでいた経験を生かし、大学院では傷跡の色素沈着と関係するメラニンに関する研究に携わっていました。また、高校時代からパワーポイント等のツールを用いた発表スキルは大学、大学院でも役立ちました。
- ・福島に行った時に見聞きした事。今でも鮮明に思い出せるほど印象深い内容であり、公衆衛生に興味を抱き進路を考えるきっかけとなった。
- ・実習として医療施設を訪れた経験により、医療従事者の視点を持って現在の業務に取り組むことができていると感じています。
- ・ただ医師になりたいというだけでなく、どんな医師になりたいか、考えるきっかけになった。
- ・実際に病院で現場を見たり、医歯薬コースのメンバーと話すことで、自分の進路を考える上で参考になった。



医歯薬コース2年生
「医歯薬実践B」講座
国立がん研究センター東病院に於いて



医歯薬コース2年生
「医歯薬実践B」講座
すこやか薬局に於いて

(2) 医療・福祉コース

【長狭高校】 第1・2・3期生 (平成28・29・30年度卒業)

	第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)	第3期生 (平成30年度卒)
調査数	23	44	42
回答数 (回答率)	12 (52.2%)	17 (38.6%)	17 (40.5%)

		第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)	第3期生 (平成30年度卒)
進学先で医療従事者養成課程を履修した生徒※2		11/12 (91.7%)	13/17 (76.5%)	16/17 (94.1%)
医療従事者国家試験を受験した生徒		11/11 (100%)	11/13 (84.6%)	16/16 (100%)
医療従事者国家試験で合格した生徒		11/11 (100%)	10/11 (90.9%)	16/16 (100%)
現在の職務等 ※2の内訳	正規採用	県内10 ・安房保健 保健師 ・亀田総合病院 臨床検査技師 看護師4 ・津田沼中央総合病院 臨床検査技師 ・行徳総合病院看護部 看護師 管理栄養士 理学療法士 県外1 看護師	県内9 ・亀田総合病院 看護師 ・安房地域医療センター 看護師 細胞検査士 ・亀田メディカルセンター 作業療法士 ・新松戸中央総合病院 理学療法士 ・三芳病院 職種不明 ・勤務先不明 介護職 看護師 無回答1 県外5 ・順天堂大学医学部附属 順天堂病院 看護師 鍼灸師 理学療法士 看護師 無回答1	県内15 ・亀田総合病院 看護師7 ・亀田リハビリテーション病院 ・千葉西総合病院 ・安房地区医療センター ・塩田記念病院 検査科 ・館山病院 理学療法士 ・エビハラ病院 理学療法士 歯科衛生士 理学療法士 県外2 ・株式会社アイル ・システムエンジニア
	非常勤職員	なし	県内1・さつき台病院 袖ヶ浦市	なし
	その他	不明1・トリマー兼 動物看護師	県内2・アルバイト ・学生6年生 薬学部在籍	なし

<第1・2期生（平成28・29年度）卒業生の主な意見>

※第1,2期生については、昨年度（令和5年度）公表した県立学校改革推進プランに係る評価（令和2年度再編実施分）にて掲載済み。

<第3期生（平成30年度）卒業生の主な意見>

- ・臨床の現場を見ることができ、今後目指す職種を選択する材料になったと今では思います。
- ・医療コースで診療放射線技師以外の他職種の業務内容を病院見学で学んだ経験から、実際に職場で働いている時にその時感じた事を他職種の人に話しをし、新たな発見をしたことで、他職種との繋がりが増えた。
- ・進路選択、職種ごとの仕事内容の知識を得た。
- ・病院実習などで実際の現場のイメージが湧いてから働くことができた。
- ・実際に現場でどのように仕事しているかを見ることができたこと。
- ・夏の亀田での就職体験は就職先の雰囲気や構造をいち早く知れたため、専門での実習場を想像しやすかった。
- ・各職種のシャドーイングにて実際の現場を見学できたことが将来に繋がった。



医療・福祉コース3年生
「医療現場での職業体験」講座 亀田総合病院に於いて